

泡原液補給用ホースセットの開発

名古屋市消防局（愛知） 林 俊孝
蟹江 博昭
櫻井 友大

現在N市では、石油コンビナート火災に備え、消防署敷地内に約40,000Lの泡原液を備蓄しており、有事の際には消防車に泡原液を積載し現場へ搬送する必要がある。

泡原液を消防車に積載する際に使用するフレキシブルホースには、先端にバルブが付いておらず、数十台の消防車に対して泡原液を積載し終わる都度、泡原液タンクのバルブからフレキシブルホース先端までの残渣の泡原液がすべて路上に漏洩する事となる。

実際に、平成15年8月29日に発生した「エクソンモービルN油槽所」火災では、約1,000Lの原液が漏洩した。

残留性有機汚染物質（POPs）に関するストックホルム条約（以下「POPs条約」）では、泡原液の火災以外での漏洩を厳しく規制しているため、今回の消防機材は必要不可欠であることから研究開発を行った。

また、開発した泡原液補給用ホースセットは軽量で操作性に優れているため、従来の公道上での作業を見直し、消防署敷地内で安全に補給作業を行えるようにした。

泡原液補給用ホースセットは、次のとおりです。

1 仕様

- ・硬質ビニールホース（7 m）
- ・ストップバルブ
- ・65メス65オス金具

2 特徴

- ・泡原液をこぼさない。
- ・一人で操作できる。

- ・ 泡原液を泡立たせない。
- ・ 構造が簡単で操作性が良い。
- ・ 硬質ホースは透明であり泡原液の残存状態を容易に確認できる。

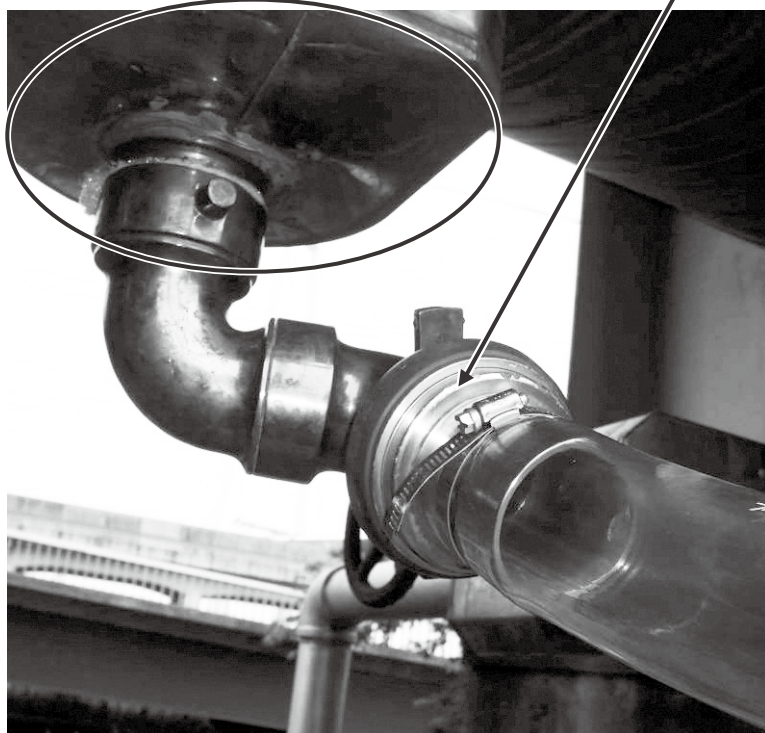


ストップバルブ

硬質ビニールホース
(7m)

タンクドレンバルブ

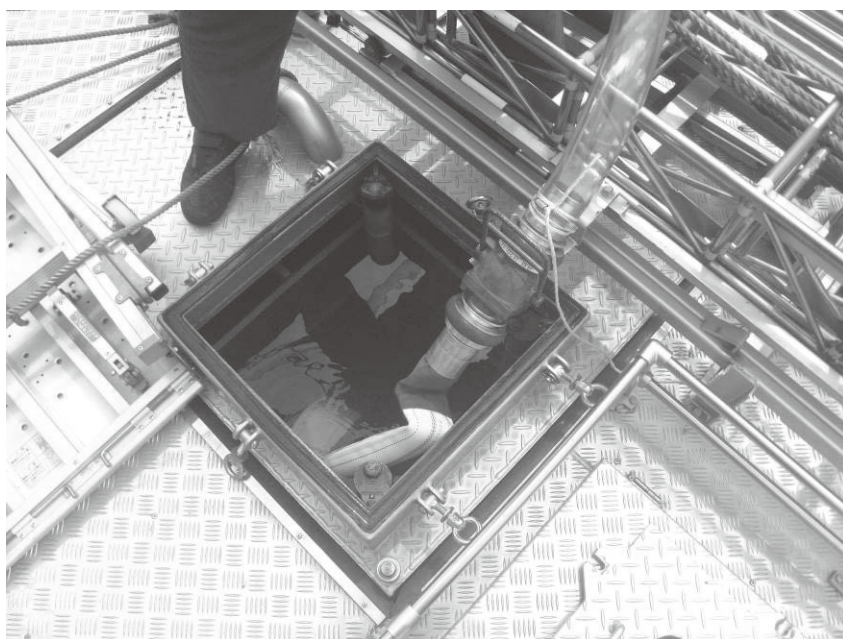
6.5メス6.5オス金具





泡原液補給体系

- ・ ストップバルブの先に2 m程のホースを結合し、タンクの底から補給することにより泡立ちを最小限に留め積載のロスを抑える。
- ・ 補給操作者の手元にストップバルブがある為、積載状況を目視しながら操作できる。



一般財団法人 全国消防協会

郵便番号 102-8119

東京都千代田区麹町一丁目6番2号

アーバンネット麹町ビル5階

電 話 (03) 3234-1321(代)

FAX (03) 3234-1847

再生紙を使用しています。

※禁無断転載